

JICA 研修報告

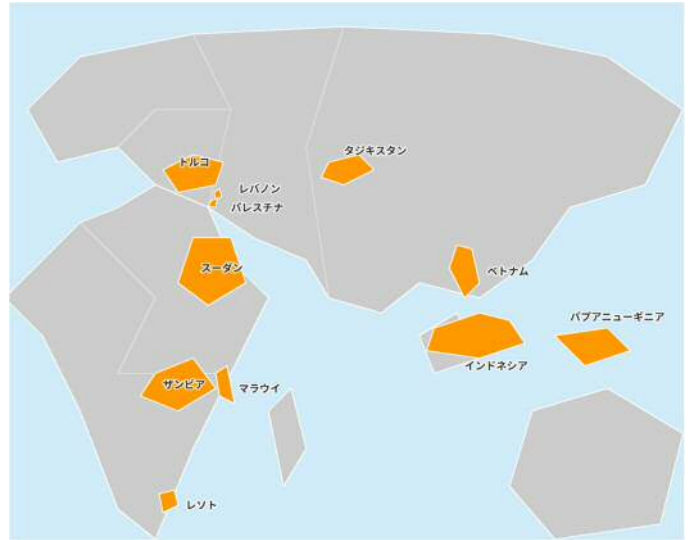
実施日：2026年7月 22 日

今年も JICA 研修を実施しました。前回は 2024 年 12 月 11 日に実施しており、今回は 11 か国 13 名の研修生をお迎えしました。当日は、パワーポイントによる会社概要・工場設備の説明に加え、工場見学を通じて、当社の産業廃棄物処理に関する取り組みを紹介しました。

① JICA 研修の概要

JICA 研修とは、開発途上国など海外から来日した研修員に対し、日本の技術や制度、現場での取り組みを紹介し、各国の課題解決や人材育成に役立ててもらうことを目的とした研修です。本研修では、日本の廃棄物行政や企業・地域社会の取り組みに関する講義・視察を通じて、大量消費・大量廃棄社会からの脱却、公衆衛生の改善、地域環境汚染の削減に向けた施策を学び、各国でのアクションプラン策定につなげます。

研修会には、インドネシア、ベトナム、パプアニューギニア、パレスチナ、レバノン、トルコ、スーダン、マラウイ、タジキスタン、レソト、ザンビアの 11 か国から、廃棄物処理に関わる中央省庁、地方政府または関連機関の行政官が参加しました。参加者は 7 月 6 日から 7 月 31 日までの期間、さまざまな研修プログラムに参加し、各国での活用を想定したアクションプラン案を策定します。ケー・イー・シーでの研修は、そのプログラムの一つとして実施されました。



研修の参加国

② 研修内容

対応者：業務部 仮屋、事務課 澁谷。

座学では、英語に翻訳されたプレゼン資料を用いて、会社概要および工場設備について説明しました。第 3 会議室は、研修生、JICA の引率者、通訳の方、営業部の見学者で満席となり、研修生からも活発な質問が寄せられました。工場見学については、40℃を超える酷暑日であったため、安全面に配慮し、時間を短縮して 1 号炉を中心に説明を行いました。

研修後の質問タイムでは、桑名名物「安永餅」と女性社員の皆さんに制作していただいた「桑名の千羽鶴」で お・も・て・な・し をさせていただきました。

今回の研修は、当社の産業廃棄物処理に関する取り組みを海外の研修生の皆様に知っていただく貴重な機会となりました。研修生の皆様の国における廃棄物対策の推進や、国際的な友好関係の発展に少しでもお役に立てれば幸いです。

ご協力いただいた皆さんありがとうございました。

